

第2回

かまぼこ工場のひみつ

学習日： 月 日

学習時間



かまぼこができるまで



1. すり身をねる

大きなすりばちで味つけをしながら、すり身をねります。



3. むしてひやす

むしたあと、かまから出してひやします。



2. かまぼこの形にする

ねったものを板の上にのせ、形をつくります。



4. けんさと箱づめをする

よくないものがまざっていないかたしかめ、箱に入れます。



5. 出荷する

トラックで、市内や市外へせい品を運びます。

かまぼこの原りょう

かまぼこの原りょうは、北の海でとれる「すけとうだら」、南の海でとれる「いとよりだい」「ぐち」などの（おく）のすり身です。また、原りょうは国内だけでなく、外国からもすり身で送られてきます。

工場では、できるだけよい原りょうを手に入れるようにしています。

答えは「答えと考え方」の24ページ

はたらいっている人のようす

えいせいに気をつける

かまぼこ工場ではたらく人は、工場の中に入る前に、せいけつな服そうに着がえます。また、作業の前には手を消どくし、ほこりやかみの毛をはらいます。

工場内では、きかいやゆかをきれいに消どくするなど食品の安全を守るため、えいせいに気をつけています。



せいけつな服そう

工場の中のいろいろな仕事

かまぼこ工場では、かまぼこをつくるほかに、いろいろな仕事があります。工場には、せい品をけんさする人や、せい品を店まで運ぶ人、新せい品のけんきゆうをする人などがいます。

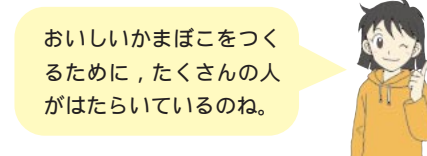
このように、いろいろな仕事をする人が力を合わせ、おいしいかまぼこをつくっています。



研究室ではたらく人



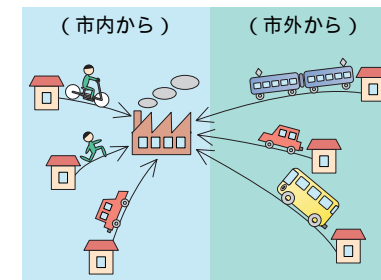
工場には、いろいろな仕事があるんだね。



おいしいかまぼこをつくるために、たくさんの方がはたらいっているのね。

すんでいるところ

かまぼこ工場ではたらいっている人の多くは、工場のある市内から通ってきます。しかし、かまぼこ工場のある市内だけでなく、バスや（ ）をり用して近くの市や町から通う人もいます。さい近は、通きんに自動車をつかう人もふえました。



はたらく人はどこから何をつかってくるか

答えは「答えと考え方」の24ページ